

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

215-777

事務事業名	はじめまして絵本事業				財務会計上の位置付け	会計	1	款	10	項	5	目	5	細目	10	細々目	5	19予算額(千円)	855	
部等名	教育委員会	課等名	図書館		包含する細々目															
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり																			
施策	24 家庭教育の充実																			
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等														
		事業期間	S58	年度～	年度															

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	市内居住7ヶ月児親子、2歳児親子	登録7ヶ月児世帯数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする		
			880	850			
	2歳児世帯数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度				
		880	850				
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	絵本の読みかきかせの大切さを理解してもらい、読書を通じて家庭での親子のコミュニケーションが図られる。	プレゼントされた本を家で読み聞かせした率	18目標	90	最終目標	95	
			18実績		19目標	90	↑
		23目標	92	23実績		最終目標達成年度	
		読みかきかせが習慣化した率	18目標	66	最終目標	70	
18実績				19目標	66	↑	
23目標		68	23実績		最終目標達成年度		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	昭和58年より保健課とタイアップし、7ヶ月相談時に乳幼児とその親に対して本に親しむきっかけをつくる活動として、絵本の読み聞かせ、読書相談などを働きかけてきた。 平成13年11月からは絵本を1冊プレゼントする活動が加わり、平成14年度からは2歳児相談での、絵本の読みかきかせなど行う活動が加わった。	18年度の実績 乳幼児とその親に対して、本に親しむきっかけをつくる活動として7ヶ月相談会場へ図書館員が出向き、ことばと心を育てる絵本の大切さについて指導した。合わせて絵本の読みかきかせを行い、初めて出会う絵本6冊の中から一冊をプレゼント。 フォローアップ事業として2歳児相談時に読みかきかせとその大切さを指導。 その他、市内各地にある育児サークルの要請で、読みかきかせや絵本のミニ講座を実施し読書や図書館活用の定着化を図る。	7ヶ月相談 2歳児相談 プレママ講座 乳幼児学級ミニ講座	60回 48回 1回 16回
		19年度計画 乳幼児とその親に対して、本に親しむきっかけをつくる活動として7ヶ月相談会場へ図書館員が出向き、ことばと心を育てる絵本の大切さについて指導した。合わせて絵本の読みかきかせを行い、初めて出会う絵本6冊の中から一冊をプレゼント。 フォローアップ事業として2歳児相談時に読みかきかせとその大切さを指導。 その他、市内各地にある育児サークルの要請で、読みかきかせや絵本のミニ講座を実施し読書や図書館活用の定着化を図る。		

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
一般財源	900	855	
事業費計(A)	900	855	
人件費	正規職員所要時間	18年度 120	19年度 120
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	429	429
	トータルコストA+B	1,329	1,284

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	親子のコミュニケーションが図られる。	子どもとコミュニケーションがとれている割合	現状値	92.9	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	95
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
<p>幼児は1歳くらいから絵本に興味を示すため図書館側からの提案により、昭和58年より保健課とタイアップし7ヶ月児とその親に対し、読み聞かせ指導の実施を行ってきた。</p>	<p>平成12年に絵本のプレゼントを組み入れた「ブックスタート」事業の効用がイギリスより紹介され、その後全国に広まった。 当市においても議員と市民からの声で、平成13年度から絵本プレゼントを予算化したこの事業を開始。</p>	<p>絵本プレゼントについては、アンケート調査からも市民からは大変好意的に受け取られていることがわかる。 また絵本プレゼントは議会からの働きかけから生まれたものである。</p>

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) <b>結びつく</b> (その理由) 本に興味を持ち始める最初の時期(7ヶ月児)に、親子双方へ働きかけることはその後の児童の読書習慣へ大きな影響を与え、親子のコミュニケーションづくりのきっかけとなる。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) <b>余地がある</b> (その理由) フォローアップが必要となる。	
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) <b>必要性がある</b> (その理由) 家庭教育に必要不可欠な事業となっており、他の各種相談時における拡大を検討中である。		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) <b>影響あり</b> (その理由) 絵本、読み聞かせに興味を持つ親子が増えない、親子のコミュニケーション不足につながる。
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) <b>必要性がない</b> (その理由) 対象者は年々変わるので、現在の意図での継続により底辺の拡大につながる事が望ましい。			関連事業あり	(評価) <b>関連事業あり</b> (類似事業名、理由) 読み聞かせ、子育て講座といった類似事業は他にもあるが、参加対象者が7ヶ月児相談ほど網羅的ではなく、絵本プレゼントも行っていない。読み聞かせという行為の連携はできるが、図書館の総合的な利用案内、読み聞かせ・子育てに関する相談まではできない。
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？	(評価) <b>必要ある</b> (その理由) 図書館には市民に読書を通じた学習機会を提供する役割があり、そのきっかけづくりとなる本事業へ市が関与することは必要である。		効率性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) <b>不可能</b> (その理由) 事業費のほとんどが削減の余地がない絵本の費用である。プレゼントした本を家でも読んでいる人は90%に上っており、これを削減することは成果に影響する。
		公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) <b>妥当である</b> (受益者とその理由) 受益者は乳幼児親子すべて。読書習慣への第一歩として絵本をプレゼントし、行政が誕生のお祝いと読み聞かせの重要性を伝えるというメッセージ性の高い事業。子育て支援の一環でもある。		

### 【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<p>保育園・幼稚園と連携し保育士や保護者向け絵本講座を開催。</p>
<p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	<p>生まれた子どもにも市が絵本を配布する事業だが、仮に希望していない本を与えられても繰り返し読まないのではないか、成果把握のため、追跡調査や具体的なアンケートを充実させる必要はないか。</p>